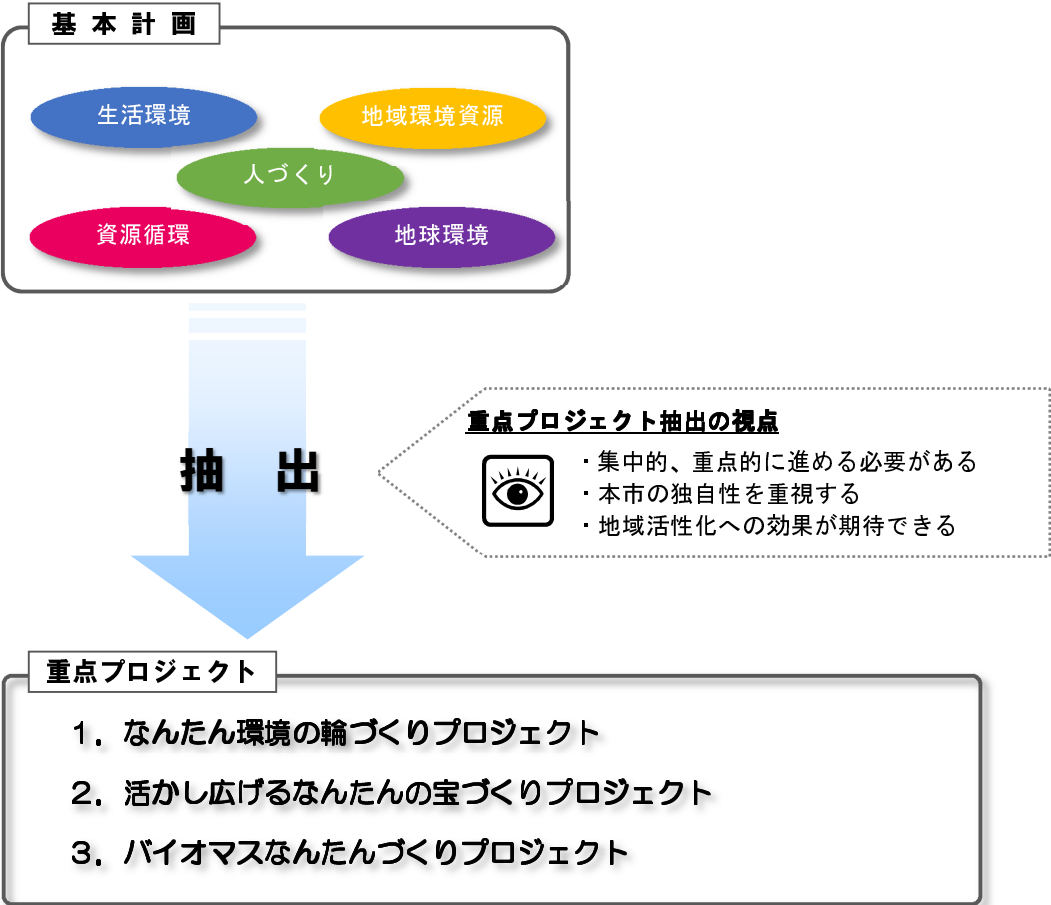


重点プロジェクトについて

重点プロジェクトは、本市の現状・課題などを踏まえ、第4章の基本計画に挙げた取り組みの中で、特に集中的・重点的に進める取り組みを示します。ここでは3つのプロジェクトを設定し、優先的に取り組むことで基本計画全体の推進を図ります。



重点プロジェクト抽出の考え方

1 なんたん環境の輪づくりプロジェクト

関連する環境保全施策	<ul style="list-style-type: none">・環境に関する情報を収集、提供し、意識向上に取り組みます・環境保全活動を担う人材や団体の育成・支援に取り組みます・環境活動のための協働体制づくりに取り組みます
取り組み主体	環境関連団体、学校、企業、市

■目的・効果

- ・本市では、市のホームページや広報なんたんなどを通じて、環境に関する情報の発信を行い、市域における環境保全活動の支援を行ってきましたが、今後は環境保全活動を担う人材の育成や、団体間や学校間、地域と学校、地域と企業など、様々な主体が連携した取り組みへの展開が求められています。
- ・これらの現況を踏まえ、重点プロジェクトとして、環境関連の情報提供や環境保全活動を行う様々な主体の連携支援、保全活動に参加する機会を提供することを目的に、環境に関する取り組みやイベントなどをまとめたサイトの整備に取り組みます。また、環境保全活動を担う人材育成支援などに取り組みます。

【ポイント】

環境保全活動を担う人材育成と様々な主体による取り組みの連携、取り組みの広域的な展開

■取り組む項目

①環境関連情報をまとめたサイトの整備

- ・環境に関する情報について、環境学習や地球温暖化対策などのテーマ別、事業者や市民などの主体別、関連する条例や計画、関連リンクなどを整理し、環境関連情報をまとめたサイトの整備を図ります。

②環境保全活動を担う人材や団体の育成支援

- ・南丹市地域づくり出前講座を活用した環境リーダー育成を推進します。
- ・大学や団体等と連携して環境保全活動を担う人材の育成を図ります。

③学校同士、地域同士が連携した取り組みの推進

- ・環境に関する情報や取り組みについて、学校や地域の代表者による定例会などを開催し、情報を共有するとともに取り組みの連携を促します。

④積極的な情報発信と共有の推進

- ・環境に関する取り組みを行う地域や学校、企業などと連携して、環境関連情報をまとめたサイトを活用し、環境に関する情報発信及び情報の共有を図ります。
- ・広報誌やチラシ、CATV、SNSなどを活用し、環境に関する情報を効果的にPRします。

2 活かし広げるなんたんの宝プロジェクト

関連する環境保全 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育・環境学習・体験活動に取り組みます ・環境に関する情報を収集、提供し、意識向上に取り組みます ・環境保全活動を担う人材や団体の育成・支援に取り組みます ・環境活動のための協働体制づくりに取り組みます ・山林・川・里の自然環境を保全します ・生物多様性を保全します ・伝統ある歴史・文化を伝承します ・美しい景観を保全します ・地域資源を活かした産業・観光を振興します
取り組み主体	市民、環境関連団体、学校、企業

■目的・効果

- ・本市の美山地域は、本市を代表する河川である由良川や、由良川の水源地域に広がる芦生の森など、原生的な自然を有しており、希少な動植物の生息地となっています。また、昔ながらのかやぶき民家が群在しており、こうした豊かな自然や自然と寄り添う暮らし、伝統文化などが評価され、美山地域全域が国定公園に、かやぶき民家が群在する北集落が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。美山地域では、こうした地域の伝統文化と豊かな自然を生かしたまちづくり・地域活性化を目的として、地域の自治組織および事業者などによって構成される「南丹市美山エコツーリズム推進協議会」を設立、「南丹市美山エコツーリズム推進全体構想」を策定しており、地域資源を活かしたエコツーリズムに取り組んでいます。
- ・園部、八木、日吉地域においても、それぞれ地域の特性を活かした農林業や田舎暮らしをはじめとする様々な体験の取り組み、また、これらを行う人材の育成などを行っています。
- ・本市では生物多様性保全に向けた取り組みがあまり普及しておらず、今後は各地域で展開してきた多様な自然を保全する取り組みや、取り組みを通じた意識啓発などについて、生物多様性保全などの観点を含め、さらに充実していくことが求められています。
- ・これらの現況を踏まえ、重点プロジェクトとして、地域資源の活用及び生物多様性保全に向けた取り組みの充実を目的に、ボランティアガイドの育成・活用や、農林水産業体験、身近な生きもの調査など、様々な体験を盛り込んだツーリズムの実践、学校と連携した環境学習、インターンシップなどに取り組みます。

【ポイント】

地域の自然や歴史・文化、保全活動を地域内外に広げる人材の育成、生物多様性保全に向けた取り組みの普及啓発

■取り組む項目

①プロジェクト実施に向けた内容の検討と体制構築

- ・体験を行う場所や受け入れ民家の選定、連携を行う学校、企業や体験希望者との調整など、プロジェクト実施に向けた内容の検討と連携に向けた体制の構築を図ります。

②ボランティアガイドの育成・活用推進

- ・南丹市美山エコツーリズム推進全体構想に基づき、「南丹市美山エコツーリズムオープンカレッジ」を実施し、ガイドやコーディネーターなどの人材を育成します。
- ・南丹市地域づくり出前講座を活用した人材の育成を推進します。
- ・育成したガイドやコーディネーターを美山町自然文化村の河鹿荘やビジターセンター、かやぶきの里の情報発信館ゆらりなどの主要な情報発信施設に配置し、積極的な情報発信や取り組みを推進します。

③ツーリズムの推進

- ・これまでの取り組みと併せて、国立公園に指定された芦生の森や大野ダム、かやぶきの里などを巡り、そこに根づく歴史・文化や自然に触れる取り組みを推進します。
- ・自然環境や動植物の生態、里のくらしとの関わりや、クマ剥ぎやナラ枯れ、シカの食害や地球温暖化の問題などについて、体験・学習する取り組みを推進します。
- ・身近な田んぼや里山に生息する生きものの観察や調査及びそれらの生きものと人との繋がりや食物連鎖などについて解説するツアーを推進します。

④学校と連携した環境学習やインターンシップなどの推進

- ・市内の小学校や南丹市美山エコツーリズム推進協議会と連携して、地域の自然や歴史・文化、保全活動に触れる自然体験や見学などを推進します。
- ・学校のインターンシップや研修などの受け入れを行い、かやぶきの里における取り組みの紹介やツーリズムの実施などを通じて、環境に関する意識の醸成や地域との交流を深めます。

3 バイオマスなんたんづくりプロジェクト

関連する環境保全 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育・環境学習・体験活動に取り組みます ・環境に関する情報を収集、提供し、意識向上に取り組みます ・環境活動のための協働体制づくりに取り組みます ・山林・川・里の自然環境を保全します ・地域資源を活かした産業・観光を振興します ・農林水産物の地産地消を推進します ・資源やエネルギーの有効活用を推進します
取り組み主体	市民、団体、学校、企業

■目的・効果

- ・本市では、家畜排せつ物の循環利用を目的に八木バイオエコロジーセンターを建設して以降、家畜排せつ物から、エネルギーや堆肥、液肥を利用する取り組みを進めています。また、家畜排せつ物だけでなく、食品廃棄物や木質バイオマス、水力など、地域の特性を活かした資源を地域のエネルギー源や環境に配慮した肥料、防災、地球温暖化対策などに利用しています。こうしたバイオマスを活用する取り組みが評価され、本市はバイオマス産業都市の選定を受けています。
- ・本市では「南丹市バイオマス産業都市構想」及び「南丹市バイオマス活用推進計画」を策定しており、これらの構想・計画に基づき、地域資源利用の取り組みを進めるとともに、それらと農林業や地域づくりを有機的に連携させることにより、資源循環を通じた地域活性化が図られるよう、地域や事業のつながりを構築していくことが求められています。
- ・これらの現況を踏まえ、重点プロジェクトとして、地域の特性を活かした地域資源利用の取り組みを推進するとともに、これらの取り組みを環境学習やインターンシップ、ツーリズムなどと併せて行うことで地域活性化を図り、環境にやさしく災害に強いまちづくりに取り組みます。

【ポイント】

環境にやさしく災害に強い循環型社会の構築、農林業や地域づくりとの連携による地域活性化

■取り組む項目

①木質バイオマスの有効活用推進

- ・山林を多く有する日吉地域や美山地域において、森林の適切な整備や間伐、間伐材の搬入路などの整備を推進します。
- ・日吉地域や美山地域の豊かな木質バイオマスを木材や木質チップ、薪などとして積極的な利用を図ります。
- ・薪ストーブやペレットストーブの購入助成を通じて、木質バイオマスの利用促進を図ります。
- ・チップ燃料の安定供給に向けて、チップ製造供給対象施設の拡大を検討します。
- ・ボイラの更新時期を迎える市内の大型施設や防災施設について、木質チップボイラの導入を検討します。
- ・国や府と連携して、日吉ダムや大野ダムに流入する流木の利活用について検討を行います。

②バイオエタノール燃料（BDF）の利用推進

- ・南丹市全域や京都府、近隣市町と連携して、廃食用油の効率的な回収や精製、BDF 供給基地の整備を推進します。
- ・環境関連情報をまとめたサイトや広報誌などを通じて、BDF の活用に関する情報発信を行い、利用促進を図ります。
- ・BDF のブランド化や、Jクレジットの活用、また、排出権を地元産品にオフセットできる体制の構築を検討します。

③バイオガス発電に伴う副産物の利用推進

- ・環境関連情報をまとめたサイトや広報誌などを通じて、八木バイオエコロジーセンターやカンポリサイクルプラザ（株）で行われているバイオガス発電の取り組みや、堆肥・液肥を利用した循環型農業に関する情報発信を行い、利用促進を図ります。
- ・バイオガス発電によって発生した消化液と二酸化炭素を利用して微細藻類の光合成を促し、培養したクロレラを家畜の機能性飼料として利用する取り組みを推進します。
- ・企業や大学研究機関、市内養鶏農家、八木町農業公社が組織する協議会と連携し、微細藻類の利用促進に向けたシステムの構築を図ります。

④園部、八木地域におけるバイオマス資源化施設を利用した資源の複合利用の推進

- ・八木バイオエコロジーセンターやカンポリサイクルプラザ（株）などのバイオマス資源化施設について、家畜排せつ物や生ごみなどの活用を充実させるとともに、木質バイオマスや工場からの食品残さ、下水汚泥など様々なバイオマスを利用できるよう、システムの構築を検討します。
- ・バイオマス資源化施設を、環境学習の場や災害時のエネルギー供給施設として活用を図ります。

⑤農林業や地域づくりの連携推進

- ・美山地域で行われているエコツーリズムを通じた取り組みや人材育成と、木質バイオマスを利用する取り組み、堆肥・液肥を利用した循環型農業を連携させ、地域が主体となった地域資源の活用を推進します。
- ・大学の学生を対象にバイオマス利用について学ぶ現地宿泊研修やインターンシップを実施するとともに、農産物のブランド化やツーリズムなど地域振興を目的としたプロジェクトを推進します。



取り組みのイメージ図

出典：南丹市バイオマス産業都市構想